

5年生 道徳学習指導案

場 所：5年生教室

授業者：森 穂乃香

1 主題名 相手のことを考えて

2 教材名 「くずれ落ちた段ボール箱」 <出典：文溪堂 5年生のどうとく>

3 主題構成表

■内容項目 親切、思いやり

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。

■価値の分析

- ・人は、他人との関わりの中で生活している。そこで大切なのは、人の幸せを喜び、人の不幸に涙し、人の苦痛に心を痛める、共感する心であり、人を思いやる心である。人の気持ちを押し量り、その人の身になって考える力は、人と人が共生する社会の基盤となっている。
- ・5年生では、困っている人がいれば親切にし、助けなければいけないことは誰でも分かっている。思いやるだけではなく、親切を行動に移す実践力の育成が目標である。そのために、相手の立場や気持ちを真剣になって考え、より深い思いやりの心をもって、親切な行動をしようとする心情を指導する必要がある。
- ・本学級においては、誰に対しても、思いやりの心をもって接することや、その心を行動に移そうとする態度が素晴らしいものであり、そこに価値があるということに気付かせたい。

■内容項目から見た児童の実態（意識）

- ・冷静で客観的な判断が身につけていて、困っている人に対して相手のことを考え、進んで親切にしようという意識がある。
- ・親切にすることがよいことと分かっているから、単に親切にしたらよいという対処的な意識がある。
- ・身近な人が困っていたら親切にしようとする意識がある。しかし、知らない人には恥ずかしいという意識がある。

■意識の要因

- ・親切にすることはよいという思いをもっているので、教師や親に価値付けてもらおうと頑張れるが、自発的ではないので意欲が持続しない。
- ・言葉やその場の行動のみにとどまり、心底相手を理解できず、自分の経験した範囲でしか行動できない。
- ・公共の場などでは、親切にしなければならぬと分かっているにもかかわらず、恥ずかしいからできない。

■教材の分析

- ・見知らぬおばあさんの孫が積んであった段ボールを崩してしまい、「わたし」たちが、代わりにその段ボールを片付ける。見知らぬ人が困っているときに、助けたいと思う思いやりの心に気付くことができる。
- ・親切な気持ちで段ボールを片付けていたのに、事情を知らない店員に怒られてしまう。親切な行いが誤解されてしまったときの二人の複雑な気持ち、店員が去った後、おばあさんと孫がお礼を言い戻ってきて報われた気持ち、店員さんに対して、もやもやする気持ちなど多様な思いにふれることができる。
- ・数日後、学校の朝会で店員からの手紙が公表される。二人の「親切にしてよかった」という、晴れ晴れとした気持ちから、親切な行いについて考えを深めることができる。

■ねらい

困っている相手のことを考えて行動すると自分も相手も心が温かくなることに気づき、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

■展開の構想

- ・おばあさんが困っている様子を見て、助けたいと思う思いやりの心に気付かせる。
- ・せっかくだ行っただ親切な行いが誤解されたときや、親切を正当に評価されたときの二人の複雑な気持ちにふれる。
- ・わだかまりが晴れ、すっきりとした二人の気持ちに共感させ、相手のことを考えた親切な行動のよさを感じさせる。

■基本発問（◎中心発問）

- おばあさんを手伝ったのはどんな思いからなのだろう。
- おばあさんのことを気の毒に思ってやったのに、誤解されて、どんなことを思っただろう。
- ◎店員さんからの手紙を聞いて、二人はどんな気持ちになったのだろう。
- 【深】
 - ・誤解が解けたから晴れ晴れしただけなのかな。
 - ・店員さんが書いたお二人の温かい気持ちってどんな気持ちだろう。
 - ・店員さんは何で手紙をくれたのだろう。
- 今日学んだような親切をした経験はありますか。また、未来の自分がなりたい姿を具体的に書きましょう。

■「わたしたちの道徳」の活用（授業前・授業中・授業後・活用しない）

帰りの会でP60『思いやりの心があるから 共に生きられる』を読む。

4 学習指導過程

選	学習活動（基本発問と予想される児童の反応）	指導・援助
<p>気付く</p> <p>見つける</p> <p>深める</p> <p>見いだす</p>	<p>1 「ちょっといい話」を紹介する。優しい気持ちについて考えることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の主人公と、場面設定を把握する。 <p>2 「くずれ落ちた段ボール箱」の資料を読んで、感想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールをおばあさんに代わって直してあげることがすごい。 ・せっかく親切な気持ちで拾って片付けたのに、店員さんに怒られて嫌だなあという気持ちが分かる。 ・誰も片付けなかったのに、どうしてできたのだろう。 <p>3 感想をもとに、主人公について話し合う。</p> <p>○おばあさんを手伝ったのはどんな想いからなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわいそう。誰も手伝っていないけれど、力になりたいな。一緒に段ボール箱を整理しよう。 ・男の子の様子も心配だろうし、段ボール箱のことも困っているな。声をかけてみよう。 ・もし声をかけて助けたら、周りにいる人はどう思うんだろう。誰も手伝っていないし。でも、困っているから助けたいな。 <p>○おばあさんを気の毒に思ってやったのに、店員さんに誤解されて、どう思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何で怒られるの。怒られるなら、もうこんなことはやりたくない。 ・やめて帰ろうかな。悪いことじゃないのに怒られて、気分が悪い。 ・店員さんに言い返そう。このままだと、自分が悪者になってしまう。 ・せっかくいいことをしているのに、すっきりしない。 ・どうせやるなら、むしゃくしゃせずに行った方が気持ちいい。 <p>◎店員さんからの手紙を聞いて、どんな気持ちになっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめてもらえてよかった。 ・本当のことが分かってもらえてよかった。 ・誤解が解けてうれしかった。 <p>【深めの発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤解が解けたから晴れ晴れしただけなのかな。 ・店員さんが手紙に書いたお2人の温かい気持ちってどんな気持ちだろう。 ・店員さんは、なんで手紙をくれたのだろう。 <p>・認めてもらい、思いやりが伝わったから。</p> <p>・自分がやったことは、間違っていなかった。田口さんも、わたしたちも、おばあさんも温かい心になった。</p> <p>・周りの人が温かい気持ちになり、手紙をくれるくらい感動してくれたんだ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">相手の気持ちを考えた親切は人の心を温かくする。</p> <p>4 親切について、自分の生活とつないで振り返る。</p> <p>○今日学んだような親切をした経験はありますか。また、未来の自分がなりたい姿を具体的に書きましょう。今日の学習をして考え方が変わった人も、ぜひ書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下校中、下級生が溝に落ちた。班長なので仕方なくその子の家まで付き添った。今日勉強して、相手の気持ちを考えた親切は、自分も相手もまわりの人の心も温かくすることが分かった。これからは、そういう気持ちで親切な行動をしていこう。 <p>5 本時の自己評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主人公「わたし」と自分を重ねて考えることができた。 ・仲間の意見につないで自分の意見を話すことができた。 ・なりたい自分を見つけることができた。 	<p>研究（2）①意識の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケートを行い「親切な行動・思い」についての実態を把握する。 ・今までの学級の歩みの中のよさ見つけから、親切や思いやりについて記録を出し、方向付ける。（例：運動会練習の場所が分からない1年生にやさしく教えてあげていた。） ・「わたし」の気持ちについて「わかる。」「すごい。」「どうして。」という視点で、感想をもたせる。具体的な体験を入れながら話すように指導する。 ・おばあさんのことを考えて手伝ったことを確認させる。 ・おばあさんにお礼を言われ、もやもやした気持ちがおさまらないことをおさえる。 ・いらいらしていた気持ちと比べさせ、晴れ晴れとした気持ちや、「ありがとう」と言ってもらったことで怒りが収まっていることを確認する。 <p>研究（2）②深めの発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思考に沿わせることができるようにいくつか用意する。 <p>研究（2）③語り合いの工夫・小グループ交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人または3人の小グループを作り、司会者を中心に話し合わせる。その時自分の立場（「わたし」の気持ちに共感・批判）をはっきりさせた話型を示し、多様な考えを引き出す。 《話型》○○さんが言ったように、私も○○です。わけは、△△だから。○○さんの考えといっしょだし、さらに強くこの気持ちだと思った。 ・もやもやした気持ちがなくなり、晴れ晴れとした気持ちに共感させるために、お礼を言われたときの気持ちと比べさせる。 <p>研究（2）④振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時を通して「親切」に対する自分の考えの変化をノートに振り返り、相手の気持ちを考えた親切は人の心を温かくすることに気付けるようにする。

5 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<日常生活>	<教科・特活>	<児童の意識>	<指導・援助>
<p>登下校</p> <ul style="list-style-type: none"> 行き帰り、出会った人に元気よくあいさつをし、地域の人と関わりをもつ。 <p>通学班</p> <ul style="list-style-type: none"> 班員が困っていたら、相手の気持ちを考えて助ける。 <p>委員会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員会の活動について他学年の子が困っていたら、声をかけ、一緒に解決する。 <p>たてわり掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい掃除箇所困っている子に、その子の気持ちを考えて声をかける。 	<p>7月（学校行事） 大掃除 1学期間使った校舎に感謝の気持ちを込めて全校で掃除をする。</p> <p>9月（学校行事） 運動会 集団行動を身につけ、協力、責任、忍耐などの精神力を高め、日常の生活行動に発展させる。</p> <p>10月（社会科） 自動車を作る工業 自然環境や使用する人など誰に対しても、安全で安心して使用できる物を提供していることを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仲間のカーペットの張り替えを手伝いたい。 分担場所以外の掃除も手伝おう。 一人でできないことを一緒にやっ払いこう。 同じ団の仲間と協力して、勝ちたいな。 一人で勝手な行動をしているのではなく、仲間のことを考えて行動しよう。 工業製品を使う相手のことを考えて作ることで、消費者に安心を提供できるんだな。 私も使いたいな。 使う人のことを考えて行動できることってすごいな。まねしてみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで仲間に声をかけ仲間の困っていることや、困っていそうなことを助ける姿を価値付ける。 学年を超えた仲間と声をかけ合い、励まし合う姿を価値付ける。 仲間の声を聞き、その声に応えようと協力する姿や、本気で本音をぶつけ合う姿を価値付ける。 誰に対しても安心を与えているということについてまとめている児童を取り上げ、紹介し価値付ける。

道徳の時間（本時） 親切、思いやり 教材名「くずれ落ちた段ボール箱」
 本時のねらい
 困っている相手のことを考えて行動すると自分も相手も心が温かくなることに気づき、相手の立場に立って親切に接しようとする心情を育てる。

<p>帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの道徳を活用する。 <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰にでも気持ちのよいあいさつをし、困っている人を見かけたらその人の気持ちを考えて行動する。 	<p>11月（学校行事） 北方っ子集会 低学年や下級生に声をかけ、みんなが楽しめる北方っ子集会にし、高学年として誰に対しても親切に接する。</p> <p>・相手の気持ちを考え、誰にでも思いやりのある姿で接しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手のことを考えて行動したい。 相手の気持ちを考えられる高学年でいたい。 楽しい北方っ子集会にしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年を超えて声を掛け合い、自分を含めみんなが楽しめたことを取り上げ、価値付ける。
--	---	--	--

相手の気持ちを考えた親切は、人の心を温かくする。

くずれ落ちた段ボール箱

わたし

男の子が走ってどこかへ誰も手伝おうとしない

知らないおばあさんが困っているのを見て

- こまっているな。
- かわいそう。
- ほっておけないな。
- 助けたい。

店員さんにごかいされた

- やりたくない。
- 腹が立つな。
- 手伝わなければよかったな。
- いいことをしたけれどすっきりしないな。

店員さんからの手紙

- ほめられてうれしいな。
- ごかいがとけてうれしいな。
- 本当の事を分かってもらえてよかったな。

おばあさんの気持ちを考えて親切にできてよかったな。